MAGNETIC DISK DEVICE

Patent Number:

JP62022290

Publication date:

1987-01-30

Inventor(s):

KOGA YOSHIRO

Applicant(s):

SEIKO EPSON CORP

Requested Patent:

JP62022290

Application Number: JP19850161388 19850722

Priority Number(s):

IPC Classification:

G11B33/14

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To enlarge a passing air flow of a circulation filter and improve effect of the filter by providing an air flow guide plate on which a filter material is bonded.

CONSTITUTION:In an air flow inlet side of a circulation filter 13 in a disk enclosure 16, an air flow quide plate 15 on which a filter material is bonded is provided. Even if a disk device and the enclosure 16 are made compact, a passing air flow of the filter 13 is enlarged and a filter effect is improved by the filter 13 and the guide plate 15 and dust of the enclosure is satisfactorily removed.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

⑩ 公開特許公報(A) 昭62-22290

(5) Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和62年(1987)1月30日

G 11 B 33/14

M-7177-5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

②特 願 昭60-161388

②出 願 昭60(1985)7月22日

⑫発 明 者 古 賀 欣郎

諏訪市大和3丁目3番5号 株式会社諏訪精工舎内

①出 願 人 セイコーエプソン株式 東京都

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

砂代 理 人 弁理士 最 上 務

明 細 書

1 発明の名称

磁気ディスク装置

2 特許請求の範囲

1 枚以上の磁気ディスクとディスクエンクロージャ内の空気を清浄化する循環フィルタを有する 磁気ディスク装置に於て、

前記循環フィルタの空気流入婦側に、フィルタ 材を貼付された空気流入誘導板を配設した事を特 欲とする磁気ディスク装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、磁気ディスク装置に関し、より群し くは、固定型磁気ディスク装置の循環フィルタ構 造に関する。

[発明の概要]

本発明は磁気ディスク装置に於て、循環フィル

タの空気流入端側に、フィルタ材を貼付された空気流入誘導板を配設することにより、循環フィルタに流入する空気流量を増すだけでなく、空気流入誘導板自体も循環フィルタとしてディスクエンクロージャ内の空気の清浄化に寄与するものである。

〔従来の技術〕

従来の磁気ディスク装置の循環で、41はを第4図に示す。第4図に於て回転で、41はるもの気では中からに回転ではいからに回転ではいからに回転ではがある。ではなけるのではなけるのではなけるのではなけるのではなけるのでではなけるのでではないのでである。ので変しないではないでではないでではないので変しなが発生した。ののので変換が発生した。ののので変換が発生した。ののので変換が発生した。ののので変換が発生した。ののので変換が発生した。のので変換が発生した。のので変換が発生した。内部で変換が発生した。

清浄な雰囲気にされる。この場合、空気流入誘導 壁 4 5 により、循環フィルタ 4 3 を通過する空気 流量は向上されその結果として循環フィルタ効果 を向上させている。

(発明が解決しようとする問題点及び目的)

しかし、前述の従来技術では、磁気ディスクの 径が5.25インチや3.5インチと小径化された場合、磁気ディスクが一定の回転速度で回転する空気流量は のとすれば、循環フィルタを通過する空気流量は 不十分であり、ディスクエンクロージャに盛埃が 発生した場合、塵埃の除去に所要する時間は著し く大きくなりへって頼性を著しく低下させてし まう。

そこで本発明はこのような問題点を解決するもので、その目的とするところは、 磁気ディスク装置の小型化に伴う循環フィルタの小型化及び循環フィルタ通過風量の減少に対処すべく、循環フィルタの通過風量を向上し、また、ディスクエンクロージャのスペースを有効に利用してフィルタ効

とができる。

(実施例)

第1図は本発明の一実施例に於る磁気ディスク 装置の循環フィルタ部構造図であって、11は磁 気ディスク、12はフレーム、13は循環フィル タ、14は循環フィルタ内のフィルタ材、15は 空気流入誘導板、16はフレーム12等で囲まれ 磁気ディスク11等の存在する清浄な雰囲気の空 間であるディスクエンクロージャを示す。第1図 によれば、磁気ディスク11が反時計回りに回転 することによりディスクエンクロージャ16内部 には磁気ディスク11の回転力及び遠心力に伴う 空気流を生じ、循環フィルタ13の近傍では図中 の矢印で示されるような空気流を生じ、空気流入 誘導板15が1枚以上の磁気ディスク11の面間 もしくは最上面もしくは最下面付近に配設され磁 気ディスク11の回転により生ずる空気流を強制 的に循環フィルタ13の空気流入端側に送ること によって循環フィルタを通過する空気流量を増大 させるだけでなく、空気流入誘導板15を第3図 果を向上せしめディスクェンクロージャの雰囲気 を清浄に保ち内部で廃埃が発生した場合にも迅速 に盛埃を除去し、磁気ディスク装置の信頼性を向 上することにある。

[問題点を解決するための手段]

本発明の磁気ディスク装置は、1枚以上の磁気ディスクとディスクエンクロージャ内の空気を清浄化する循環フィルタを有する磁気ディスク装置に於て、前配循環フィルタの空気流入端側に、フィルタ材を貼付された空気流入誘導板を配設した事を特徴とする。

(作用)

本発明の上記の構成によれば、空気流を強制的により磁気ディスクの回転に伴う空気流を強制的に循環フィルタ側に送り、循環フィルタの通過過度を増し循環フィルタの空気清浄化の効率を気流を整えしかもフィルタ材が貼布されているから空気流入誘導板自身も第2の循環フィルタとしてディスクエンクロージャ内の空気清浄化に寄与さるこ

第2図は本発明の他の実施例に於る磁気ディスク装置の循環フィルタ部構造図であって、21は 成気ディスク、22はフレーム、23は循環フィルタ内のフィルタ材、25 は空気流入誘導壁、26は空気流入誘導板、27 はディスクエンクロージャを示す。第2図は、第 4図に示されるような空気流入誘導板を配設し ま3図に示されるような空気流入誘導板を配設し たものであって、第1図の実施例の場合と同様に、 循環フィルタ 2 3 を通過する空気流量を増大させ、空気流入誘導板 2 6 を空気が通過し第 2 の循環フィルタとしてディスクエンクロージャ 2 7 内部の空気の清浄化効率を向上できる。

[発明の効果]

以上述べたように本発明によれば、空気中の塵埃のフィルタ効果と空気流の誘導効果とを有するを気気が悪ないるととなり、一致の変を強いるとともに、循環フィルタの小型化及び省スペース化が可能になないがのが変し、できる。では、のでは、のでは、できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す磁気ディスク 装置の循環フィルタ部構造図。

磁流产127装置9缩模7/11/9部構造図 第 1 図

第2図は本発明の他の実施例を示す磁気ディスク装置の循環フィルタ部構造図。

第 3 図は本発明の磁気ディスク装置に於る空気流入誘導板の概略構造図。

第4図は従来の磁気ディスク装置の循環フィルタ部構造図。

11,21……磁気ディスク

13,23……循環フィルタ

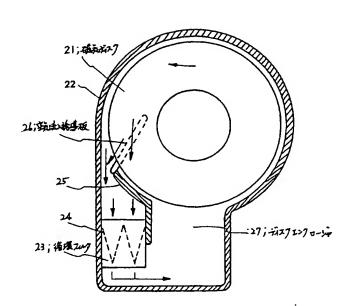
15,26……空気流入誘導板

16,27 ディスクエンクロージャ

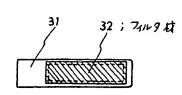
3 2 … … … … フィルタ材

以上

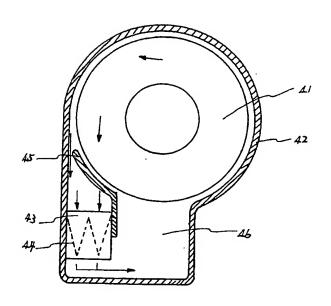
出願人 株式会社諏訪精工会代理人 弁理士 最上 務



磁気形对装置 循環刀心部構造团 第 2 図



空气赤人转身板。硫略磺基园



從来,磁流元27装置,指揮7m27部構造図 等 4 図